

たからものカードをつくって話す

単元の位置	1 SO	2 SO	3 YT	4 YT	本時 5 EC◎	6 EC◎	7 OH	8 OH◎
-------	------	------	------	------	----------	-------	------	-------

前時：第4時 サイコロトーク2周目とかきかたワーク①／次時：第6時 カードで伝え合う①と中間指導（◎思判表）

この時間を3行で

① たからものを1つ選んでカードに4文を書き写し、班でカードを見せて話す

② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい

③ ◎話す8分で知技（5～8班で10人前後。全員は第8時）

本時の目標	たからものを1つ選んでカードにまとめ、カードを見せながら、I like や I'm good at などを使って、自分のことを2文程度で伝えることができる。（知識・技能）
めあて	たからものカードをつくって、見せながら話そう
評価	◎記録に残す評価：知識・技能（行動観察・29-37・10人前後）／○指導に生かす：20-29 4つの文が写せずに止まる子

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド □ 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	あいさつ。教科書の歌（デジタル教材）。終わったらスライドショーを始める。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1
5-10 全体	帯：歌／チャンツ 教科書のチャンツ（デジタル教材）。自分のことを言う4つの文を思い出す。	T チャンツで、自分のことを言う文を思い出そう。	▶S2
10-15 全体	ポスターの上の4つを言う→先生の見本のカード（拡大）を聞く→自分のことに替えて、となりに小声で1文。	T My treasure is my old glove. I like baseball. （見本のカードを見せて）	▶S3-5〔ポスター〕 ◇先生の見本のカード（拡大）を黒板に貼る
15-17 全体	めあてを読む。つくる時間のあとに、カードを見せて話す時間があると聞く。	T カードをつくったら、班で見せて話します。	▶S6
17-20 ひとり	かきかたワーク②の1：I'm from Midori Town. をなぞる（カードの1行目のお手本）。2・3は朝の時間に。	T 町や学校の名前は、大文字ではじめるよ。	▶S7〔かきかたワーク②〕 ・I'm from は町でも学校でもよい（配慮②）
20-29 ひとり	たからものを1つ選び、たからものカードに4文を書き写す（黒板の型を見てよい）。絵はかんたんに（色ぬりはしない）。	T Choose your treasure. たからものを1つ。ものでなくてもいいよ。	▶S8-10〔活動シート2〕 ◆決まらない子には、毎日つかう物・好きな場所・楽しみな時間の3つから選ばせる ・絵のかわりに日本語で書いてもよい。家から物を持ってこさせない
29-37 4人班	班の中で1人ずつ、カードを見せて自分のことを言う（1人1分）。前半4分で1周→後半4分は、聞く人が What's your treasure? とたずねてから。 S: I'm good at swimming. My treasure is my sneakers.	T Show your card and talk. カードを見せて話そう。 T One minute each. 1人1分。 T Now, ask: What's your treasure? （後半）聞く人がたずねてから話そう。	▶S11-12〔活動シート2〕 ◎知識・技能（行動観察）＝5～8班の机で ◆止まった子には判断の基準の手立て（その場で）⇒2
37-45 全体→ひとり	振り返りカードの毎時間の欄に1行。たからものカードは集めて第6時まであずかる（家に持ち帰らせない）。	T カードを見せて、自分のことを伝えられたかな。 T Good job! See you! よくがんばりました。	▶S13-14〔振り返りカード〕

第5時 評価・板書・準備（前の日に読む面）

評価 ◎知識・技能（29-37）

観点	おおむね満足（B）	十分満足（A）＝Bに加わる姿	努力を要する児童への手立て
知識・技能	カードを見せながら、I like / I'm good at / My treasure is などを使って、自分のことを2文程度で伝えている（カードや黒板の型を見て言う）。 ※得意なことが出ない子はI like で言いかえてよい。I'm good at swim. のような形のまちがいは問わない。	bに加えて、I like / I'm good at / My treasure is を使い分け、3文以上で自分のことを伝えている。	①その場で：先生が聞く人になってWhat's your treasure? とたずね、カードの絵と一緒に指さしてMy treasure is を1文だけ一緒に言う。 ②得意なことで止まるときは、絵カードを2枚見せてSoccer? Or drawing? と選ばせ、I like で言い直す。

- ・手立てをした子は、この時間は記録せず、次の◎（第8時）で見る。
- ・見取りの割り当て：話す8分に5～8班の机をまわり、カードを見せて話す子を見る（10人前後）。第8時のテストのBは「パフォーマンステスト」のルーブリック。この時間の記録は、同じ観点の別の場面の材料。この時間で全員を見ようとしない。
- ・評価に入れないこと：カードの書き写しの字・つづり／カードの絵の出来／たからものが何か（値段・新しさ）／声の大きさ・目線・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

29-37 ・5人班は1人50秒を目安に（合図は全体で4分ずつ）

板書計画

左	中：会話の型	右：先生の見本のカード
日付・第5時 めあて	I'm from I like I'm good at My treasure is	拡大した先生のカード（4文と絵）
黒板の横：キーフレーズポスター（第1時から） テレビ（映すだけ）：カードの作り方・話し方（映すだけ） 書かないもの：子どものたからものの名前／児童の名前		

ALT

- いるとき：・10-15でALTの見本のカードも話す（古い物か毎日つかう物）
- ・29-37は聞く人として班をまわり、Nice! を返す（記録はつけない）
- いないとき：・見本のカードは先生のものだけ
- ・29-37は先生が5～8班の机をまわる

ALTに頼まないこと：Please don't choose the treasure for the students. Please don't talk about how much things cost.
評価は担任がします。ALTに記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：家から物を持ってこさせない。カードは教室で仕上げ、家に持ち帰らせない（planの削る順②）
くらべる：カードの絵の出来やたからものをくらべない
目立つ：話すのは班の中だけ。全体の前で1人に話させない
単元計画の配慮①：宝物は「もの」でなくてよい（人・場所・思い・ペット）。実物の持参は求めない設計にしてある
単元計画の配慮②：I'm from は出身地に限定しない。I'm from Sakura Elementary School. でもよいと第1時に示す

時間が足りないとき

削る順：①かきかたワーク②（17-20）は朝の時間へ回し、カードづくりから（▶S8へ）
②カードの絵は、たからものの名前を日本語で書くだけでよい
削らないもの：カードを見せて話す8分（29-37・◎の場面）
前の時間が終わっていないとき：第4時のかきかたワーク①が終わっていないければ、朝の時間に回す（この時間にはしない）

準備物

- ☐ [活動シート2] 人数分（第7時まで使う）
- ☐ [かきかたワーク②] 人数分
- ☐ [絵カード] 提示用1部＋班数分（たからものの例）
- ☐ [キーフレーズポスター] 掲示
- ☐ 先生の見本のカード（活動シート2を拡大して書いたもの）1枚
- ☐ 見取り用の名簿（5～8班）・教室のタイマー 各1
- ☐ [振り返りカード] 人数分（単元を通して同じ紙）